

## 傾斜量図

傾斜量とは地面の傾きを示す量である。傾斜量の計算方法はいくつか存在するが、いずれも傾斜量を求めたい地点と周辺の地点間の標高差と距離をもとに計算される。一般的に、傾斜量図では傾斜量が0度の場合に白を、傾斜量が90度の場合に黒を割り当て、その間をグラデーションで表現する場合が多い。傾斜量図によって起伏などが分かりやすくなるため、地形判読などに活用される。

### 参考文献

国土地理院：傾斜量図

<https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/slopemap.html>

国土地理院：傾斜量図の作成方法

<https://www.gsi.go.jp/chirijoho/chirijoho40108.html>

国総研 土砂災害研究部 水野正樹

## ハッシュ処理

ハッシュ処理とは、データをルールにもとづいて変換して要約値を求める処理の一つである。

データ変換には変換後のデータから元のデータを復元することが可能な可逆性変換（圧縮など）と容易に復元出来ない非可逆性変換（要約など）がある。ETC2.0で用いるハッシュ処理は非可逆性変換であり、変換前のデータは復元出来ない。ハッシュ処理では、同じデータを、同じハッシュ関数を用いて変換した場合、必ず同じ要約値を求めることが出来る。この技術は、一例を挙げるとパソコンのパスワードデータの保存に用いられている。パソコンからパスワードの要約データが盗まれた場合であっても、元のパスワードを復元することが出来ない。しかし、正しいパスワードを入力すれば、保存されたパスワードファイル内の要約値と同じものを繰り返し生成できることから、webサイトなど、多くの場面で用いられている。

国総研 高度道路交通システム研究室 小原弘志

## 消去権

消去権とは、インターネット上のプライバシー保護に関する考え方の議論から生まれた権利に関する考え方で、別に「削除権」や「忘れられる権利」とも呼ばれるものである。2014年以降に欧州委員会において消去権(right to erase)として用いられるようになった。この中では、欧州国民が消去権を行使する対象は欧州内外に適用されるとしている。これに対し、欧州外からは消去権の行使は欧州に限定されるという主張が行われている。

日本においては、既存法律で同様の取扱いが可能として消去権を独立した権利とする必要性を判断していないが、検索サイトなどでは削除に関するガイドラインを公開するなど、その取り扱いは一様ではない。主に、個人に関する出自や犯罪歴などを中心に議論が進んできたものだが、個人の移動履歴なども、この対象とする議論が行われるなど、今後の動きに注目すべき考え方である。

国総研 高度道路交通システム研究室 小原弘志